

# 花咲きホルモン 観察方法を考案

2019/4/8付 | 日本経済新聞 朝刊

🔖 保存 📧 共有 🗨️ 🐦 📘 その他▼

■**東京大学** 阿部光知准教授らは、開花のスイッチを入れるホルモン「フロリゲン」が茎の先端に花芽をつくる詳細な仕組みを解明した。特殊な観察方法を考案し、ホルモンが茎の先に移って別のたんぱく質と結びつく様子を観察した。

花卉（かき）や作物で、花を咲かせるタイミングを制御する新技術につながる可能性がある。

■**東京大学** 阿部光知准教授らは、開花のスイッチを入れるホルモン「フロリゲン」が茎の先端に花芽をつくる詳細な仕組みを解明した。特殊な観察方法を考案し、ホルモンが茎の先に移って別のたんぱく質と結びつく様子を観察した。

花卉（かき）や作物で、花を咲かせるタイミングを制御する新技術につながる可能性がある。

葉でできる「フロリゲン」と茎の先端にあるたんぱく質

## 花咲きホルモン 観察方法を考案

に蛍光たんぱく質の断片を付け、双方が出会うと光るようにした。

フロリゲンが葉の葉脈を通り、茎の先端でたんぱく質にくっついて複合体になったことを観察できた。観察を続けると、複合体は花の芽ができ始めてから1週間が過ぎると無くなった。

花が咲かない時期に無理やり作ろうとすると、花が異常な形になった。チームはこの複合体以外の遺伝子の解析を進める。